Library News 京教図書館 ニュース
2017年8月号 No.203

『からくりからくさ』
（新潮文庫）梨木香歩 著
新潮社, 2002 年
ISBN: 410125333
配置場所：文庫　南館２階
請求記号：SH-1||N 55

こちらの２冊も
文庫 南館２階にあります。

『りかさん』（新潮文庫）
新潮社, 2003 年

『家守綺譚』（新潮文庫）
新潮社, 2006 年

私のすすめるこの1冊

奥村 真紀（英文学科 准教授）

『からくりからくさ』

梨木 香歩（著）

梨木香歩という作家は、イギリスの児童文学者であるベティ・モーガン・ボウエンに師事していたこともあって、英国的なファンタジー作家の印象が強い。例えば『西の魔女が死んだ』という作品は、学校に行けなくなった日本人の少女とそのイギリス人の祖母の魂の交流を描く物語であるし、『裏庭』は主人公照美が「テルミィ(Tell me)」となって、あるイギリス人の残した屋敷に潜む異界を旅しながら、本当の自分を見つけていく物語である。しかし同時に、日本を舞台とした彼女の作品には日本らしい季節観が繊細に描き出されていて、その流れゆく自然を見つめる目に感銘を受ける。

例えば本書『からくりからくさ』は、祖母の残した古い日本家屋に住む、蓉子を含めた４人の女性たちの共同生活を描いた作品である。長い作品なので、古い人形をめぐる因縁話やクルド人問題に至るまで幾重にも絡まったプロットと、そのプロットを通して次第に明らかになっていく彼女たちの縁と友情が描き出される過程も読みごたえがあるが、作中ではその背景となっている祖母の家と、４人それぞれが手仕事をしながら、静かに流れる季節に応じた生活を送っていく様子が、具体的な場所や作業や手順などを踏まえて堅実に語られていく。例えば庭のタチアオイを見ながら、まだその花が下の方についているので梅雨明けが遠いと蓉子が感じる場面。あるいは、季節の終わりに紫蘇の穂を見ながら、紫蘇の実を採って、「根っこごとざぶざぶ洗い、軒下に逆さに吊しておこう。祖母はそれを乾かしてしそ茶を作っていた。そしたらまた春先にはそのこぼれ種からまた適当に芽が出るだろう」(187)と思う場面。移り行く季節の中で、日々の生活を大切に送る様子は、このように細やかに描かれている。にわかには信じがたい登場人物同士の関係性や、命を持つ人形との会話といったファンタジー的要素は、土台となる生活が丁寧に描かれていることで、自然と物語の中で受け入れられるようになっていく。

染色の勉強をしている蓉子がヨモギを煮出し、セイタカアワダチソウを刻み、刈安を刈って染めた糸で、紀久と与希子（この二人の名前には大きな意味があることが最後にわかる）が機を織り、作品を作る。文学作品は「テクスト」と呼ばれるが、「テクスト」とはロラン・バルトの言うように、まさに textile（織りあげられたもの）と同じ語源をもつ言葉である。作中で紀久が、「女たちは機を織る。反物という一つの作品に並行して、彼女たちは自分の思いのたけも織り上げていったのです」(94-95)と言う場面があるが、そのような世界観がこの作品には満ちている。まさに反物を織り上げるように、女性たちの物語が紡がれていくさまが見事である。

この物語の前日譚である『りかさん』や、植物を題材とした『家守奇譚』などの作品も一読を勧めたい。

京都教育大学

それはかなう夢講座

「先生になりたい ― それはかなう夢」は、京都教育大学のシンボルフレーズです。「それはかなう夢講座」では、本学の教職員が、学部、大学院のすべての専攻、研究科の学生や教職員の皆さんを対象に、科学の魅力をわかりやすくお伝えしていきます。特に、小学校の先生になりたいと思っている学生の皆さんのご参加をお待ちしています。

第７回を実施しました

７月５日㈬、附属図書館１階のリフレッシュラウンジにて「それはかなう夢講座」が実施されました。第７回は、数学科の川原田茜先生による「カオスの話をしましょうか」をテーマに、数学における「カオス」についてのお話しがありました。定員30名を越える参加があり、多くの学生や教職員で賑わいました。

（ 第７回の様子 ）

第８回のお知らせ

【日時】2017年10月の水曜日（予定）12:10～12:40
【場所】附属図書館１階 リフレッシュラウンジ
【講師】今井 健介（理学科 准教授）
【テーマ】昆虫の生き様を研究する

おにぎり２個
＆お茶付き！
先着30名

主催：「現代的ニーズを踏まえた「理系」教員養成のためのカリキュラム開発」プロジェクト
後援：京都教育大学同窓会・京都教育大学附属図書館

リクエストと投票で話題の本を読もう！

学習研究以外のリクエスト本を一定期間掲示し、皆さんの投票で購入する本を決定するリクエスト企画をしています！

8月はお休みです。次回は9月に実施します。

今年度はこんな本を買いました！
※ 北館２階研修セミナー室前に展示しています。
４月～６月の投票第１位をご紹介します。

４月
『か「」く「」し「」ご「」と』
住野よる著 新潮社 2017年

５月
『ムロ本、』 ムロツヨシ著
ワニブックス 2017年

６月
『つまんないつまんない』
ヨシタケシンスケ著 白泉社 2017年

学修相談カウンター

8･9月はお休みです

10月には再開予定ですので、どんどん利用してください！

図書館員のつぶやき (17)
～電子機器の貸出～

今年度からノートPCの貸出を開始したことはみなさんご存じかと思います。実は、数年前からノートPC以外にも電子機器の貸出を行っています。それは･･･**プロジェクター**です！
プレゼンの練習をするときはもちろん、少人数で１台のノートPCを囲んで相談するときなどにも便利です。是非一度お試しください！

2017 オープンキャンパス
8月22日(火)10:00～16:30

通常通り開館していますが、混み合うことが予想されます。申し訳ありませんが、ご理解いただけますようお願いいたします。

夏季休業に伴う長期貸出について

学部生：７月26日(水)～９月19日(火)
院生・教職員：７月12日(水)～９月５日(火)
【返却期限日】10月４日(水)
※卒業・修了予定者は９月11日(月)まで

雑誌の製本作業について

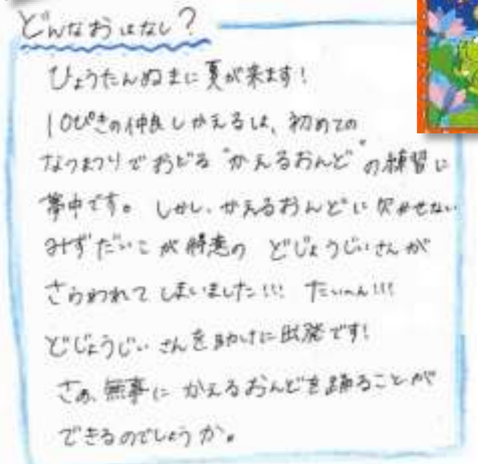
８月から10月中旬（予定）まで、南館１階・西館３階にある雑誌のうち、2015年～2016年に発行されたものを中心に、一部の巻号が製本作業のため利用できなくなります。製本後はすべて西館３階（書庫）に並べますので、そちらをご利用ください。
※作業中は製本対象リストを図書館ホームページに掲載する予定です。

児童書コーナー

今月の「えほんのよみきかせ」は、
８月21日（月）１５：００～ です。

今月の絵本カード

『10ぴきのかえるのなつまつり』
作：間所 ひさこ
絵：仲川 道子
出版社：PHP研究所



※絵本カードは幼児教育科の学生が作成し、児童書コーナーに展示しています。他にも毎月かわいいカードが飾られていますので、ぜひ見に来てください。

企画展示室（北館１階）

◆公開講座：楽しい塑造教室作品展

本学の木代喜司名誉教授、谷口淳一（美術科）教授の講師による公開講座『楽しい塑造教室ー頭像とテラコッタ作りー』（現職教員、一般市民対象）の作品展が開催されます。みなさんぜひご覧ください！

【会期】2017年８月８日（火）～10日（木）
10：00～17：00
※最終日は１６：00まで

（昨年の作品展）

◆美術科１年生による展覧会

【会期】2017年８月22日（火）～25日（金）
10：00～16：00

みにきてね！

教育資料館 まなびの森ミュージアム

今月の逸品
「弥生式土器」

詳しくはホームページの「今月の逸品」コーナーをご覧ください。展示をしていますので、ぜひミュージアムへ来てくださいね！

詳しくは…教育資料館 まなびの森ミュージアム
http://manabinomori.kyokyo-u.ac.jp/manabinomori.html

京都教育大学紀要（大学発行の学術雑誌）に掲載された論文を、
執筆した先生本人にご紹介いただくコーナーです。

論のくちび理のむすび

今回の執筆者 田爪　宏二（教育学科 准教授）

反応遅延間隔を導入した線画－単語カテゴリー判断課題における処理過程(2)
― カテゴリー名単語呈示の効果 ―

田爪　宏二
京都教育大学紀要.　2017, No.130, pp.49-58

２つの競合する刺激を呈示してその一方に対する反応を求め，他方がその処理を妨害（干渉）する課題を二重課題といい，心理学における主要な研究方法としてこれまでも数多くの研究がなされてきました。本研究でとりあげる線画－単語干渉課題もその１つであり，コンピュータに呈示される線画（絵）の名前を答える際に同時に別の対象を表す単語が呈示されると（例，猫の線画に単語“リンゴ”），両者の間に干渉が生じ，線画とともに無意味語などを呈示する場合よりも反応までの時間が長くなります。

本論文ではこの課題を用いて，主に次の２つの点について検討しています。１つは刺激提示から反応開始までの時間を操作することで刺激の処理と反応活動とを分離する効果の検討です。もう１つは，反応方法を線画のカテゴリー判断（例えば，猫の線画に「ドウブツ」と反応）とした場合の効果です。これらは，以前に同紀要に発表した論文（田爪，2015）※1でも検討されていて，そこでは線画のカテゴリー判断は線画の名称を答える場合よりも干渉が少ないことが明らかになりました。本研究では新たに，妨害刺激として呈示される単語がカテゴリー名である場合（例えば，猫の線画と単語「果物」とが提示され，「ドウブツ」と反応）の検討を行いました。実験の結果，実験の結果を線画名の単語を呈示した場合よりも干渉量が大きくなり，線画に対する反応と呈示される単語の意味符号化の水準との関係が干渉に影響することが明らかになりました。

本研究は文字や絵がどのように頭の中で処理されているのか，という問題を認知的情報処理という点から検討したものです。このような視点は，例えば授業場面で使用される教材を子どもがどう捉えているのか，またどのような提示が効果的なのか，という教育現場にも関わる基礎的な知見を含んでいるものであるといえます。

※1：No. 126,　pp. 47-56

※本タイトルの論文は京都教育大学紀要 130 号に掲載されています。
※京都教育大学リポジトリ「クエリ（KUERe）の森」http://ir.kyokyo-u.ac.jp/dspace/にも公開されています。

開館日程　□9:00−21:00　■9:00−17:00　■学内者のみ(9:00～17:00)　■休館(CLOSED)

2017年8月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

8/2-8/8 前期末試験
8/9-9/30 夏季休業
8/14-8/15 夏季一斉休業

2017年9月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30

9/6 館内整理日
9/16 大学院入試（学外者来館不可）

●京都教育大学附属図書館ホームページ
http://lib1.kyokyo-u.ac.jp/
●携帯版図書館ホームページ　（QR ｺｰﾄﾞ→）
http://tosho02.kyokyo-u.ac.jp/webopac/mobtopmnu.do

京教図書館 News No.203（2017 年 8 月号）
発行日：平成 29 年 8 月 1 日
編集発行：京都教育大学附属図書館
問い合わせ先：library@kyokyo-u.ac.jp

国立大学法人 京都教育大学 KYOTO UNIVERSITY OF EDUCATION